

はじめに

応用社会経済学2への
イントロダクション
担当：今井祐之

今回の課題

- ✓履修選択の参考になるように、
クリアしておく。――
- 1. この講義の受講情報
- 2. この講義が定義する「経済」の意味
(応用社会経済学1と重複)

今回の内容

- ▶はじめに [このスライド]
～この講義へのイントロダクション～
 1. この講義の内容について
 2. この講義の受け方について
- ▶経済と経済学 [次のスライド]

1. この講義の内容について

What――何をやるの？

先が見えない、困った困った

- 日本も世界も先の見えない変革の波に
呑み込まれている。
- このような不確実性の時代を生きていく
ためにどうしたらいいのか？
 1. 不確実なことにしがみつき、
その変化にがむしやりに食らいついていく。
V あるいは
 2. 現代社会とは一体なんなのか、
確実なことを把握しておく。
➢ この講義の方針

どうやったら “確実なこと”がわかるの？(1)

- “現在” = 今 (*now*) を見た瞬間に、
その“現在”は過去になっている。
 - “現在”を絶えず発展させながら
生み出している“現代” (*modern*)こそが
確実なもの。



どうやったら “確実なこと”がわかるの？(2)

- “ここ” (here) と言っても、無限のここがある。
 - どの“ここ”をも含んでいるような“世界” (world)こそが確実なもの。



それでは“確実なこと”は何？

- Q それでは“現代”の“世界”とは一体なに？
- A 世界を支配しており、また絶えず変化・発展しながら再生産されている資本主義だ！
- この講義は、人類史上初めて世界システムを形成した現代社会＝**資本主義的な市場社会**をその基礎から把握する。
 - それによって、“今とここ”にしがみつくと諸議論について、社会システム内でのそれぞれの位置付けも明らかにできるだろう。

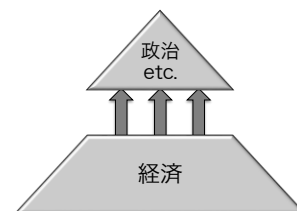
「社会」経済学とは？(1)

- 消極的な意味
 - 家庭の内部の経済活動を対象とする家政学とも企業の内部の経済活動を対象とする経営学とも違って、
 - 社会の経済活動を対象として扱う。



「社会」経済学とは？(2)

- 積極的な意味
 - 「社会システム全体」の土台として経済をとらえる。



「応用」経済学とは？

- 一般に応用 (applied) 経済学という場合に、
 1. 理論系に対して実証系の科目
 2. 基礎系に対して応用系の科目
- 応用社会経済学の場合には、2の意味 = すなわち
- 理論系の科目だが、経済原論に較べると、高度で細かいトピックスを扱う。

応用社会経済学2の課題

- 市場社会のタテマエの根本をなす **所有**
 - に着目して社会システム全体に接近する。
 - これにたいして、応用社会経済学1では **労働** に着目して社会システム全体に接近した。

所有と労働

所有

結果

意識

特殊

労働

原因

現実

一般

たとえば…

- 応用社会経済学1では企業（enterprise）としての資本が問題だったのに対して、
- 応用社会経済学2では会社（company）としての資本が問題になる。

経済学における所有理論

- 組織論と密接に関連している。
 - この点で応用社会経済学1とテーマが共通
- 所有のゆらぎが問題になっている。
 - 共有財は不効率か？
 - 株式会社は合法か？
 - 株式会社は私物か社会の公器か？
 - 株式会社はヒトかモノか？

社会システム全体における所有理論

- 狭義の“経済学”を越えて社会システム全体に目を向けてみると、所有理論は正当性の理論
- 経済システムそれ自体も、正当性に基づいていなければ、したがって当事者の意識によって媒介されていなければ機能しない。

じゃ一体なにやるの？

- 中心テーマは：
 1. 現実資本からの貨幣資本の分離という形での——
 2. 会社という形での——
 3. [会社間での関係という形での——]

私的所有の変容

2. この講義の受け方について

How——どうやって受講するの？

講義進行

- スライドを使って講義を進めていく。
 - 板書はしない。
- メインのスライド【⇒後述】については印刷した“スライド配付資料”を配付する。

メインのスライド

- 青色のスライドは、講義の本筋をなすメインのスライド。
- 講義で使用した限りは必ず試験範囲に入る。

サブのスライド

- 紫色のスライドは、サブのスライド。
 1. 本筋の内容を詳しく補足説明する場合
 2. 本筋の内容を離れて脇道の議論を紹介する場合
- 講義で使用した限りは必ず試験範囲に入る。

おまけのスライド

- 黒で「参考」というマークが入ったスライドは、おまけのスライド。
 - 講義の課題と直接には関係がないトピックス
 - 経済学以外の学問分野のトピックス
 - 経済学のやや高度なトピックス
 - その他
- このスライドは試験範囲には入らない。

その他

- この他に、以下のスライドなどがある。
 - 緑色の前回の復習のスライド
 - 学生からの質問に答えるためのQ & Aのスライド
 - ビデオ解説のスライド
 - などなど……
- 全般的に言うと、背景がモノトーン（白・黒・灰色）であるようなスライドは試験範囲に入らない。

教科書等

- 教科書はない。
- 参考文献は随時、紹介する。
- スライド配付資料が教科書代わりになる。

勉強の仕方

1. 【予習】

**！次回の分のメインの
スライド配布資料
を読んでおく。【必須】**

2. 【講義中】

- 今回の分のスライド配布資料にメモを書き込む。

3. 【復習】

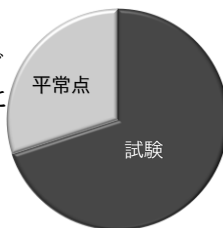
- 自筆メモとスライド配布資料を確認する。
- わからない部分は質問したり、補足レジュメ・参考文献を読んだりする。

インターネットの利用

- スライド配布資料・レジュメ等はWebに
- Blackboardの活用
 - 講義についてのアナウンス
 - 成績評価の素点の公開
 - 追加的な講義資料（講義動画等）
 - その他
- 質問は、メールでも

成績評価

- 学期末の試験（70%）
- 平常点（30%）
 - 講義内の小レポート（ビデオの感想文）など
- この他に、100点満点に加算されるボーナス点がある。
 - リアクションペーパー（毎回3点満点）など



試験について

- 持込み不可
- 事前に問題は出さない
- 論述4題（予定）

パクリ禁止

- ビデオ感想文、レポート、リアクションペーパーなどにおいて、以下のものからの丸写し、あるいはほとんど丸写しがあった場合には、単位を出さない。
 - Web上の情報資源
 - 他の学生が提出したもの
 - その他

講義態度

×私語はダメ

○ 注意2回でレッドカード（退室）

×携帯電話・スマホはマナーモードに

クレームは私語にあらず

- 講義への緊急のクレームは私語ではないので、遠慮なく講義中に申し立てること。
 - 声が聞こえない！
 - 空調が暑い／寒い！
 - 火事だっ！
 - etc.